

一般シンポジウムS8 「ヤポネシア人が食べてきた植物のゲノム解析」

時間 13:00-15:00

会場：コンベンションホールB

提案者：本橋令子(静岡大学)

シンポジウムの趣旨

近年、モデル植物や主要作物以外の様々な植物ゲノム情報の蓄積により、ゲノム情報を用いた系統解析研究が大きく発展した。人間と密接に関連して生存し、島国などへの分散を人間に依存していた植物種の起源地や分散経路の研究は、その地域への人間集団の動きの解明の代用になる。縄文時代にヤポネシア人が食べていた植物種の起源地や分散経路を、ゲノム解析を通して解き明かすことにより、ヤポネシア人の渡来経路を議論したい。

講演者と発表タイトル

13:00-13:30 齊藤惟奈¹、長田直樹²、篠村菜月¹、Wiluk Chacuttayapong¹、深沢知加子¹、小西達夫³、藤井浩¹、大村三男¹、本橋令子¹◎

(¹静岡大学 農学部 応用生命科学科、²北海道大学大学院情報科学研究院、³進化生物学研究所)

ヤポネシア人とサトイモの来た道

13:30-14:00 白澤健太 (かずさDNA研究所)

ニホングリのゲノム解析から見えた植物のゲノム進化の謎

14:00-14:30 熊谷真彦 (農業・食品産業技術総合研究機構)

ヤポネシアにおけるイネ受容の歴史をゲノム情報から探る

14:30-15:00 ジェフリー・フォーセット (理研 iTHEMS)

全ゲノムSNP解析による栽培ソバの起原の解明